



2022年4月1日

各位

会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 代表者名 代表取締役会長 西川 浩司
 (コード: 5742、東証JASDAQスタンダード)
 問合せ先 常務取締役 藤井 透
 (TEL. 076-425-0738)

中期経営計画(2023年3月期~2025年3月期)の策定について

当社は、昨今の事業環境の大きな変化を踏まえ、新たに2023年3月期から2025年3月期までの3年間を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 基本方針

当社を取り巻く経済環境は、2年以上に渡る新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の流行の影響や新たに発生した様々なグローバル的要因により、世界的に多様な産業における生産設備投資等が2~3年先延ばしとなっているものの、このような状況を捉えて生産設備等を刷新及び革新する動きが加速化しているため、今後、持続的に2年から3年以上かけて緩やか、かつ継続的に伸長していく状況にあります。

ところで生産自動化においては、今までの大量生産に適した生産設備とは異なり、多品種、変種変量生産に適した新たな生産設備へのニーズが、かつてなく高まりを見せている状況であることから、新たなステージの生産方式へ移行していくと考えております。

以上より当社は、2023年3月期をフレキシブルに対応できる新しいFAシステムの開発元年の期間と位置付け、従来の中期経営計画(2020年2月12日付「中期経営計画(2021年3月期~2023年3月期)の策定について」)における基本的な方針及び経営戦略を継承しつつ、今後のニーズに適合すべく新たな中期経営計画を策定いたしました。

2. 中期経営計画

(1) 将来的な目標数値

株主資本利益率(ROE) 15%以上
 1株あたり当期純利益(EPS) 140円以上

(2) 中期経営計画数値目標

昨今の事業環境に鑑み、当社が2020年2月12日に公表した中期経営計画(2021年3月期~2023年3月期)は、約3年弱の先延ばしによる継続的な再考を行う状況に至ったと判断しております。

今後は、2~3年先まで緩やかながらも、持続的かつ継続的な新しい形の経済成長を見込んでおりますが、2023年3月期においては、原材料価格、エネルギー価格及び物流コストの高騰等、様々な克服すべき一時的な制約が重なる状況になることが予想されます。

しかし、当社は、その次のステージを見据えて社内の業務効率化・最適化を推進し、業績への影響を最小限に留め、2024年3月期以降、加速度的に回復成長すると見込んでいる新しい形の経済環境に対応すべく臨機応変に、速やかなる社内体制の継続的刷新及び構築に注力してまいり所存であります。

以上より、中期経営計画の数値目標を以下の通り設定いたしました。

	2022年3月期 予想値	2023年3月期 計画値	2024年3月期 計画値	2025年3月期 計画値
売上高	7,410百万円	7,672百万円	8,370百万円	9,241百万円
営業利益	225百万円	228百万円	574百万円	755百万円
営業利益率	3.04%	2.97%	6.86%	8.17%
1株あたり当期純利益(EPS)	38.73円	25.33円	54.33円	79.29円
株主資本利益率(ROE)	4.6%	3.0%	6.5%	9.2%

注) 2023年3月期計画値の営業利益は2022年3月期予想値より若干上回っているにもかかわらず、2023年3月期計画値の1株あたり当期純利益が下回っております。これは、2022年3月期において、連結子会社であるNIC Autotec(Thailand) Co., Ltd.の解散及び清算決定に伴い特別損失39百万円を計上しておりますが、同社の解散及び清算に伴い回収可能性があると判断した将来減算一時差異について繰延税金資産及び法人税等調整額をそれぞれ107百万円と見込んでいることによります。

以上